

今週（9月14日から9月18日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

今週の無担保コールO/N物は、引き続き資金調達サイドのニーズが堅調で横ばい圏での推移となり、出合いの水準は0.977～0.978%が中心となった。加重平均レートは、9/15に試し取りが多くみられたことで0.978%となったものの、そのほかは0.977%となり、本日も同水準での取引が中心であった。

ターム物は、9月の金融政策決定会合及び9月末を越すターム物についてはレート水準を大きく切り上げており、2W～1M程度で1.35～1.45%程度、2Mで1.35%～1.40%程度、3Mで1.40～1.45%程度での引き合いが散見された。

日銀当座預金残高は、週初410兆円から始まり、週内に大きな増減はなく本日も410兆円程度での着地が予想されている。

18日の日銀金融政策決定会合において、金融市場調節方針を「無担保コールレート(オーバーナイト物)を、1.25%程度で推移するよう促す」ことを決定した(賛成7,反対2)。また、気候変動対応オペについて、金融調節の円滑な運営を確保しつつ、民間における気候変動対応を安定的に支援する観点から、貸付金利を変動金利に変更するほか、貸付総額等に上限を設定することとした(全員一致)。

●債券レボ市場

今週の債券レボ市場GC T/N物の出合い水準は、14日～17日は1.005%程度、18日は政策金利の変更を受けて1.25%近辺で推移する展開となった。

SC取引の個別銘柄では、2Y475～488回、5Y170～187回、10Y355～383回、20Y180～197回、30Y65～91回、40Y10～19回などで引合いが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、1Yゾーンが堅調に推移した。

16日に実施された1Y物入札では事前予想対比で強めの結果となり、セカンダリーでは堅調に推移した。

17日に実施された3M物入札では甘めの結果となり、セカンダリーでは軟調に推移した。

●CP市場

今週のCP市場は、小売業、ゴム製品、建設業など、複数の業態で大型発行が行われた。

市場残高は、25兆円程度で推移している。

発行レートは、9月の決定会合での利上げを織り込んだレートで推移しており、銘柄によって投資家の運用目線にばらつきがみられた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レボレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
9/14 (月)	63,492.99	2.985	153.65	0.977	1.000	4,097,400
9/15 (火)	63,484.10	3.030	154.65	0.978	1.000	4,089,500
9/16 (水)	63,923.00	2.995	155.39	0.977	1.000	4,090,500
9/17 (木)	64,136.25	2.990	156.15	0.977	1.000	4,102,700
9/18 (金)	65,018.95	2.975	157.10	0.977	1.249	4,103,000

翌週・翌々週（9月21日から10月2日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
9/21 (月)	*敬老の日		
9/22 (火)	*国民の休日		
9/23 (水)	*秋分の日		
9/24 (木)	*8月のFSBLEボ統計の日本分集計結果(日銀 8:50)		*4-6月期の米経常収支 *8月の米新築住宅販売件数
9/25 (金)	*9月の都区部消費者物価指数(CPI 総務省 8:30) *8月の企業向けサービス価格指数(日銀 8:50) *8月の消費者物価のコア指標(日銀 14:00)	TDB3M物 9/28発行 35,000億円 流動性供給 9/28発行 6,500億円	*8月の米耐久財新規受注 *9月のミシガン大消費者信頼感指数確報値
9/28 (月)	*日銀金融政策決定会合議事要旨(7月分 日銀 8:50)		
9/29 (火)		40Y物 9/30発行 3,000億円	*7月の米ケース・シラー住宅価格指数 *9月の米CB消費者信頼感指数
9/30 (水)	*8月の鉱工業生産速報値(経済産業省 8:50) *8月の決済動向(日銀 11:00)	2Y物 10/1発行 28,000億円	*9月のユーロ圏消費者物価指数速報値 *4-6月期の英GDP改定値 *9月の米ADP雇用統計 *8月の米個人消費支出(PCEデフレーター) *4-6月期の米GDP確定値
10/1 (木)	*金融政策決定会合における主な意見(9月分 日銀 8:50) *9月調査の日銀短観(概要及び要旨,日銀 8:50) *日銀当座預金増減要因と金融調節(9月実績 日銀 13:00)	交付税借入 10/9借入 推13,000億円	*9月のISM製造業景況指数
10/2 (金)	*9月の都区部消費者物価指数(CPI 総務省 8:30) *8月の労働力調査(完全失業率 総務省 8:30) *8月の一般職業紹介状況(有効求人倍率 厚生労働省 8:30) *9月のマネタリーベース(日銀 8:50) *8月の貸出約定平均金利(日銀 8:50)	TDB3M物 10/5発行 推35,000億円	*9月の米雇用統計 *9月のユーロ圏消費者物価指数速報値

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
9/21 (月)									
9/22 (火)									
9/23 (水)									
9/24 (木) 弊社予想	800	87,000	87,800	国債補完供給	300		300	88,100	国債償還 + 利払い TDB1Y発行▲25,000 償還32,000 TDB3M発行▲35,000 償還41,000 エネ対策借入▲5,946 償還6,613
9/25 (金) 弊社予想	▲ 100	▲ 2,000	▲ 2,100				0	▲ 2,100	
9/28 (月) 弊社予想	500	▲ 1,000	▲ 500				0	▲ 500	TDB3M発行▲35,000 償還41,000 流動性供給発行▲6,500
9/29 (火) 弊社予想	300	▲ 11,000	▲ 10,700				0	▲ 10,700	
9/30 (水) 弊社予想	800	▲ 2,000	▲ 1,200	全店共通(固)	▲ 8,000		▲ 8,000	▲ 9,200	40Y発行▲3,000
10/1 (木) 弊社予想	▲ 1,300	▲ 25,000	▲ 26,300				0	▲ 26,300	2Y発行▲28,000 償還15,600
10/2 (金) 弊社予想	100	▲ 47,000	▲ 46,900				0	▲ 46,900	

●短期金融市場の見通し

無担保コールON物は、18日の決定会合で政策金利が1.25%に引き上げられたことから、レート水準は今週より0.25%程度上昇し、1.227%程度で推移することが予想される。ターム物は、引き続き期末越えでのニーズは高いとみられる。債券レボGC T/N物のレートは、1.24～1.26%程度で推移することが見込まれる。短国市場は、25日(金)・10月2日(金)に3M物の入札が予定されている。CP市場は、9月の決定会合後の発行となり、レート水準など動向が注目される。

9/21～10/2の主要なイベントとして、国内では25日(金)に8月の消費者物価のコア指標、28日(月)に日銀金融政策決定会合議事要旨(7月分)、30日(水)に8月の鉱工業生産速報値、1日(木)に金融政策決定会合における主な意見(9月分)、9月調査の日銀短観、2日(金)に8月の完全失業率・有効求人倍率などが公表予定である。海外では24日(木)に8月の米新築住宅販売件数、25日(金)に8月の米耐久財新規受注、29日(火)に9月の米CB消費者信頼感指数、30日(水)に9月のユーロ圏消費者物価指数速報値、9月の米ADP雇用統計、8月の米個人消費支出(PCEデフレーター)、1日(木)に9月のISM製造業景況指数、2日(金)に9月の米雇用統計、9月のユーロ圏消費者物価指数速報値などが公表予定である。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。